

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/11/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

供給不安より需要不安を重視でじり安

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半で上値の重い展開になった。中東情勢の緊迫度は増しているが、現実の原油供給障害が発生していないため、原油相場に対する影響は限定されている。イスラエルのガザ地区に対する攻撃は激しさを増しているが、11月3日時点では周辺産油国がイスラム組織ハマスに対する直接的な軍事支援に乗り出すような動きは確認できていない。供給不安よりも需要不安が重視されており、戻り売り優勢の展開になった。

中国の10月製造業PMIは、国家統計局発表で前月の50.2に対して49.5、財新発表で同50.6に対して49.5になった。ともに活動の拡大・縮小の分岐点である50を下回っており、中国経済に対する逆風の強さを再確認している。また、10月米ISM製造業指数は前月の49.0から46.7まで低下している。自動車工場でストライキが発生した影響もあるが、米中製造業指標が同時に悪化したことが、原油需要不安に直結し、原油相場の上値を圧迫した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月27日時点）は、原油が前週比77万バレル増、ガソリンが7万バレル増、石油精製品が79万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

供給障害なければボックス相場、需要不安と値ごろ感が交錯

引き続き中東情勢が注目されるが、原油供給障害が発生しなければ、原油価格に対する影響は限定される見通し。需要不安を背景に一時的に80ドル台を割り込む可能性も想定しておく必要があるが、80ドル前半がコアレンジになるろう。

仮にイランがハマスに対する軍事支援に乗り出すような動きがみられると、一気に90ドル台に向けて急伸する可能性が高いがテールリスクとの評価に留まる。最悪のシナリオとしては、イランによるホルムズ海峡封鎖まで想定しておく必要があるものの、リスクのみで原油相場が急伸することはないだろう。

足元では中東情勢の緊迫化が「供給リスク」よりも「需要リスク」として消化されている。何か具体的に大きな需要ショックが発生している訳ではないが、世界経済の先行き不透明感が需要不安を高めている。その意味では、中東情勢の緊迫化が緩和・解消された方が、原油価格の押し上げ要因になる可能性がある。

米在庫環境には大きな変化が見られず、大手金融機関からは需給ひっ迫環境を背景に強気の価格見通しも示されている。中期目線だと物色妙味の大きい価格水準とみられるが、マーケットの在庫統計に対する関心は低下しており、原油相場を大きく押し上げていくのであれば、在庫統計など需給指標に対する関心を改めて高めていくことが求められよう。

前週の米連邦公開市場委員会（FOMC）と10月米雇用統計を受けて、米金利低下が進んでいることはポジティブ。ドル安・株高環境が維持されると、大きく値を崩すリスクは限られる見通し。

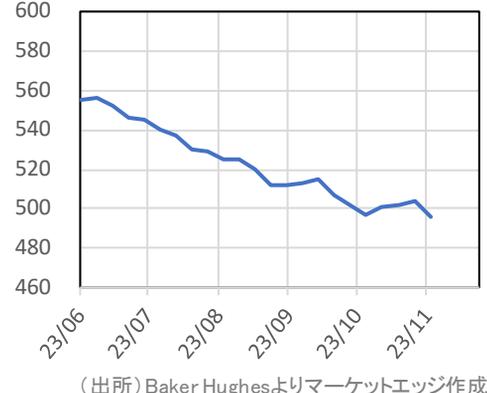
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

